

【大学間協定留学】留学報告書

記入日	2025 年 6 月 11 日
明治大学の所属学部・研究科 ※学部・学科・研究科・専攻等	政治経済学部 経済学科
留学(渡航)した時の学年	4 年生
帰国年月日	2025 年 5 月 21 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 4 月
留学先大学について	
留学先国	アメリカ
留学先大学	ノースカロライナ州立大学(日本語名) Northern State University(現地言語名)
現地使用言語/ 授業使用言語	英語/ 英語
留学期間	2024 年 8 月～2024 年 5 月
留学先大学で在籍した学年	1 年生
留学先の所属学部等	☐ 特定の学部・研究科等に所属している(以下に学部等名を記入) ※学部等名 日本語名: 現地言語での名称: ☒ 特定の学部等に所属せず様々な学部等の授業を履修している ☐ その他:
形態	☐ 国立 ☒ 公立 ☐ 私立 ☐ その他:
学年暦 ※記入例: 1 学期: 4 月上旬～7 月下旬 2 学期: 9 月中旬～2 月上旬	1 学期: 8 月下旬～12 月中旬 2 学期: 1 月中旬～5 月上旬 3 学期: 4 学期:
学生数	3521 人
創立年	1901 年

留学費用			
留学費用項目	A 現地通貨 (USD) (1 現地通貨 = 150 円)	B 日本円	備考
授業料	0	円	
宿舍費	2,752USD	円	
食費	2,000USD	円	
図書費		15,000 円	
学用品費		30,000 円	
携帯・インターネット費		37,500 円	
現地交通費	0	0 円	(☒ 大学まで徒歩・自転車)
教養娯楽費	400USD	円	
旅費(留学中)	2000USD	円	
被服費	100USD	円	
医療費	50USD	円	風邪薬等
保険費		100,000 円	形態:
渡航旅費	2000USD	円	
ビザ申請費		80,250 円	
雑費	200USD	円	
その他		円	
その他		円	
合計 ※現地通貨 および 円	9,502USD (= 1,425,300 円)	262,750 円	
総計(A+B) ※円		1,688,050 円	

※現地通貨で支払ったものは「A 現地通貨」の欄に、日本円で支払ったものは「B 日本円」の欄に記入し、総計も記入してください。

※現地通貨名、現地通貨と円の為替レートも必ず記入してください。

渡航関連	
渡航経路	
往路 出発地：羽田 目的地：アバディーン 経由地：ミネアポリス	
復路 出発地：スーフオールズ 目的地：羽田 経由地：メキシコ	
渡航費用	
① 往復チケットを購入した場合 航空会社：エアカナダ 料金：約 13 万円 ② 片道ずつチケットを購入した場合 往路 航空会社：エアカナダ 料金：約 10 万円 復路 航空会社：アメリカン航空 料金：約 15 万円 ∴合計：25 万円	
航空券購入方法	
☒ 旅行代理店(店名：エクスペディア) ☐ インターネット(サイト名：) ☐ その他()	
滞在形態関連	
1) 種類(留学中の滞在先)(例：アパート、大学の宿舎等)	
☒ 学生寮(寮の名前：McArthur Welsh Hall) ☐ アパート ☐ ホームステイ	
2) 部屋の形態	
☒ 個室 ☐ 相部屋(同居人数)	
3) 共有部分	
☒ バス ☒ トイレ ☒ キッチン(☒ 自炊可 ☐ 自炊不可)	
4) 住居を探した方法：	
大学側に希望を送り、向こうが割り振る。	
5) 感想：(滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス)	
最初は少し、汚いという印象でした。しかし、他の寮では相部屋でルームメイトがいるため、一人の時間が作るのが難しかったです。なので、そういった面では、一人の時間が必要な方にはおすすめできる寮であると思われます。	

現地情報

1) 留学期間中、病気やケガをしましたか。した場合、どこで治療を受けましたか。

(例: 現地の病院、学内の診療所)

☐ なし

☒ あり (治療を受けた場所: Avera)

2) 留学期間中、学内外で問題はありましたか。あった場合、誰に相談しましたか。

(例: 留学先大学の相談窓口、現地の友人等)

☒ なし

☐ あり (問題の内容や相談した人等:)

3) 現地の危険地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか? その際どのように対処しましたか?

現地の友達やホストファミリーに話を聞いて情報を集めました。部屋の鍵は毎回閉めるように心がけていました。

4) 携帯電話や、インターネットについて、現地での利用・接続はいかがでしたか。

(例: 寮のインターネット接続が不安定で 1 週間に 1 度は全く繋がらない時がある。街にあるほとんどのカフェでは WIFI 接続が可能であったので、寮で使用できない時はカフェに行った。)

特に問題なく使用できました。

5) 現地での資金調達はどのように行いましたか?

(例: 現地に銀行口座を開設して日本の親から送金してもらった。銀行口座は現地で外国人登録をしないと開設できない。また、クレジットカードも併用していた。)

現地の大学内でアルバイトをしたり、親と共通の口座を日本で用意し、その口座からお金を使用していた。

6) 現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。

基本的に必要なものは現地で調達することが可能であったが、日本食はなかなか食べることができなかったため、インスタントのものを持っていくと良いと思います。

7) 【授業料負担型の方】授業料の支払方法、支払時期等について教えてください。

(例: 渡航前に自分で指定したクレジットカードで支払った、現地で開設した銀行のチェックで支払った。)

学習・研究活動についてのレポート(履修した科目ごとに記入)

1) 留学先で取得した単位数合計	本学で認定された単位数合計 ※該当項目にチェックのうえ、記入して下さい。
30 単位	☐ 単位 ☐ 単位認定の申請はしません(理由:)
2) 履修登録の時期・方法及び履修制限	
☒ 出発前 ☐ 出発後 ☐ 派遣先大学の事務室 ☒ オンライン ☐ メール ☐ その他() ☐ 履修の制限があった:	
3) 以下は留学先で履修した科目についてのレポートです。今後留学をする人たちへのアドバイスも含めてお書き下さい。 記入スペースが足りない場合は、A4 用紙で別途作成し、添付してください。	
履修した授業科目名(留学先大学言語)	履修した授業科目名(日本語)
United States History II	アメリカ史 II
科目設置学部・研究科	HIST
履修期間	2024 秋学期
単位数	3
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回
担当教授	Ric Dias
授業内容	1877 年以降の歴史
試験・課題等	定期テストが 2 回
感想を自由記入	アメリカ史の後半について幅広く学ぶことができ、とても有意義な授業でした。特に公民権運動や冷戦時代のアメリカの動きについての学びが印象に残っています。現代社会につながる歴史的背景を理解する良い機会となりました。

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Foundations of Communication		コミュニケーションの基礎
科目設置学部・研究科	CMST	
履修期間	2024 秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Justin Gus Foot	
授業内容	人と人との伝え方、聞き方、言葉以外の表現(ジェスチャーや態度)など、コミュニケーションの基本的な考え方や理論	
試験・課題等	数回のスピーチを行うことが試験であった	
感想を自由記入	コミュニケーションの基本を改めて学べて勉強になりました。普段何気なく話してることにも、ちゃんと意味や仕組みがあるんだなと感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Composition I		ライティング入門
科目設置学部・研究科	ENGL	
履修期間	2024 秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Elizabeth.Haller	
授業内容	文章の書き方の基礎を学ぶコース	
試験・課題等	エッセイの提出	
感想を自由記入	この授業では、基本的な文章構成や論理的な書き方を丁寧に学ぶことができました。文章を書く力が向上し、今後の学業や仕事にも役立つ内容だと感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
International Management		国際経営
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2024 年秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 70 分が 2 回	
担当教授	Amber M. Henderson	
授業内容	国と国との関係(外交、安全保障、経済協力など)について基礎から学ぶ授業	
試験・課題等	オンラインでのテストが何度か行われた	
感想を自由記入	この授業では、国際ビジネスの現場に必要な経営知識を幅広く学ぶことができました。特に、文化の違いが経営に与える影響についての講義が印象的で、今後グローバルに活躍したい自分にとってとても参考になりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Supervisory Management		監督管理
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2024 年秋学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面 (チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 70 分が 2 回	
担当教授	Amber M. Henderson	
授業内容	現場の最前線で部下を指導・管理する立場の人が必要とするマネジメントスキルを学ぶもの	
試験・課題等	オンラインでのテストと授業中に行われる課題	
感想を自由記入	この授業では、チームのまとめ方や部下の指導法など、リーダーに必要な基本的なマネジメントスキルを学ぶことができました。とても実践的で、将来の仕事に役立つ内容だと感じました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to Linguistics		言語学入門
科目設置学部・研究科	LING	
履修期間	2025 年春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Hyflex(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 70 分が 2 回	
担当教授	Tanya White	
授業内容	言語学の基礎	
試験・課題等	毎週課される課題や期末テストとしてプレゼンテーションがある	
感想を自由記入		

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Introduction to International Relation		国際関係入門
科目設置学部・研究科	POLS	
履修期間	2025 年春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Jon D. Schaff	
授業内容	国際政治の入門的な内容	
試験・課題等	三度の定期試験	
感想を自由記入	この授業では、世界の国々がどのように関わり合っているかを学びました。戦争や平和、国際協力、国連の役割などについての基本的な知識を知ることができ、とても勉強になりました。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Consumer Behavior		消費者行動
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2025 年春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Hyflex(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Hannah Walters	
授業内容	消費者がなぜ・どのように商品やサービスを選び、購入するのかを学ぶ授業	
試験・課題等	オンラインでのテストが定期的に行われる	
感想を自由記入	消費者がどのように商品やサービスを選び、購入するのかについて学びました。購買行動の背景にある心理や動機を理解することで、マーケティングへの理解が深まり、とても有意義な授業でした。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Business & Professional Speaking		ビジネスおよび専門的なスピーチ
科目設置学部・研究科	CMST	
履修期間	2025 年春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	対面(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 70 分が 2 回	
担当教授	Justin Gus Foot	
授業内容	仕事の場でのプレゼン、面接、会議などにおける効果的な話し方やスピーチ技術を学ぶ授業	
試験・課題等	定期的に行われるスピーチやディスカッション	
感想を自由記入	この授業では、ビジネスの場で必要な話し方やプレゼンのスキルを学びました。練習を通して、自信を持って話せるようになり、とても役に立った。	

履修した授業科目名(留学先大学言語)		履修した授業科目名(日本語)
Marketing		マーケティング
科目設置学部・研究科	BADM	
履修期間	2025 年春学期	
単位数	3	
本学での単位認定状況	未定単位認定(本学で認定された単位数を書いて下さい)	
授業形態	Hyflex(チュートリアル、講義形式等)	
授業時間数	1 週間に 50 分が 3 回	
担当教授	Hannah Walters	
授業内容	企業が製品やサービスをどのように顧客に届け、価値を提供するかを学ぶ授業	
試験・課題等	定期的オンラインテストが行われた	
感想を自由記入	市場調査、ターゲティング、ブランド戦略などを通じて、企業がどのように価値を提供し、顧客と関係を築くのかを理解することができ、非常に有意義な内容でした。	

卒業後の進路について

1) 進路 ※3 年生以下の方は今後の予定を記載してください。(下記 2 以降は記入不要)

☐ 就職 ☐ 進学 ☒ 未定 ☐ その他:

1) 進路決定の際に活用したウェブサイト、書籍、機関等

3) 就職を選択した方は、差し支えなければ内定先を教えてください。また、その企業を選んだ理由も教えてください。
内定を得た企業すべての名前、あるいは入社すると決定した企業の名前のみでも構いません。
就職活動をこれから始める場合は、差し支えなければ現時点で希望する業界、職種等を教えてください。

4) 就職活動中・終了に関わらず、就職活動について感想・アドバイスをお願いします。
(例: 留学中の就職活動へ向けた準備、帰国後に就職活動を始めるにあたり注意すること等。)
就職活動を不安に思い、留学を断念する方もいます。
ご自身の経験を踏まえてアドバイスをお願いします。
就職活動をこれから始める場合は、留学経験を通して就職活動に対する意識や希望する就職先の変化等を教えてください。

5) 進学を選択した方は、差し支えなければ進学先を教えてください。

6) 進学を志す留学希望者に向けたアドバイス(準備、試験対策等)をお願いします。

7) その他を選択した方は、その進路を選択した理由と、留学希望者に向けたアドバイスをお願いします。

留学に関するタイムチャート

留学するまでの準備、試験勉強、留学中、留学後、特に留学に関連して発生した事項を記入してください。

(例: 語学試験の勉強、選考、出願、ビザ申請・取得、航空券購入、予防接種、滞在先確保、留学中の中間試験・期末試験、その他イベント等)

留学開始年の 前年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	
	8 月 ～ 9 月	語学試験
	10 月 ～ 12 月	
留学開始年	1 月 ～ 3 月	
	4 月 ～ 7 月	VISA、予防接種、航空券、履修登録
	8 月 ～ 9 月	留学開始
	10 月 ～ 12 月	期末試験
留学/帰国年	1 月 ～ 3 月	航空券購入
	4 月 ～ 7 月	期末試験、帰国
	8 月 ～ 9 月	
	10 月 ～ 12 月	

留学を志す学生へのアドバイス

※ これから留学を志す学生へ、この留学先国・大学を選んだ理由、留学生活全般等について、アドバイスを記入してください。

私がこの国・大学を選んだ理由は、「英語力の向上」と「多様な文化に触れること」ができる環境だと思ったからです。実際に留学してみて、現地の人との交流や、世界中から集まった学生たちと授業やイベントを通じて学ぶことは、とても刺激的で成長につながりました。

最初は言葉や生活の違いに戸惑うことも多かったですが、毎日少しずつ挑戦することで、少しずつ自信ができました。特に、積極的に話しかけたり、授業外のアクティビティに参加することで、友達もできて、より充実した留学生活を送ることができました。

これから留学を目指す皆さんには、「完璧を求めず、失敗を恐れないこと」を大切にしてほしいです。わからないことがあっても、質問したり助けを求めることで、周りは必ずサポートしてくれます。大切なのは、自分から動くことです。

ぜひ、自分に合った国・大学を選び、挑戦を楽しんでください